

田中萬逸 新聞記者、政治家。明治十五年九月二十三日大阪生れ、昭和二十八年十一月五日歿（八二—九三）。號花浪、花浪生。大阪府立農學校を経て早稻田大學に入る中退、報知新聞社入社。のち實業界へ轉じ、更へ大正四年衆議院議員（當選十四回）。この間の譯著は、アレキサンデル三世著ロセバストポール（内田旭・原口春鴻・柳河春葉共譯、明治二十七年八月二十五日國民書院）、『家庭園藝術』（富益良一共著、明治二十八年八月二十五日博文館）、『皇居の葉』（大正二年七月二十一日正晃書院）、『最新造庭花卉園藝』（大正二年七月二十一日大倉書店）、『大西郷秘史』（大正二年一月一日武俠世界社、のち昭和九年十月十八日叢文閣）、『雲上秘録』（大野正義・佐行庄七共著、大正十一年三月十五日大日本國民中學會）等がある。

その後、第一次吉田内閣國務相（昭和二十一年）、新憲法下の初代衆議院副議長、講和條約特別委員會委員等歴任。

